

事務事業評価表 平成22年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 子育て環境の充実
 基本事業 未就学期児童への支援

事業名 **休日保育事業**

[0146]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成18年度	実施計画事業認定	非対象
課名	子育て支援室保育課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>休日保育を必要とする児童</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>休日保育を必要とする児童の子育て支援を行う</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>休日保育利用申込書により 休日保育実施園又は保育課へ申請する。利用料は1人目1日2,500円、2人目以降は1日1,200円。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	休日保育希望登録者数	人	32	33	27	50
対象指標2						
活動指標1	休日保育実施園数	園	1	1	1	1
活動指標2						
成果指標1	休日保育利用児童数 (延べ)	人	184	133	195	158
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	3,947	3,829	3,902	3,844
正職員人件費 (B)		千円	1,675	1,672	1,660	1,666
総事業費 (A) + (B)		千円	5,622	5,501	5,562	5,510

費用内訳	
21年度	委託料 3,902千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景		事業を取り巻く環境変化	日曜、祝祭日勤務などの就労形態の変化に対応するため、休日保育の実施について要望がある。
--------	--	-------------	---------------------------------------------

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
 妥当である
 妥当性が低い

理由・
 根拠は？

国の特別保育事業に定められており、市民ニーズにより市が実施することは妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
 貢献度ふつう
 貢献度小さい
 基礎的事務事業

理由・
 根拠は？

日曜・祝祭日に働く保護者のために実施するもので、基本事業への貢献度はふつうである。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
 どちらかといえばあがっている
 あがらない

理由・
 根拠は？

日祝日に勤務のある保護者のニーズ応えているので成果がある。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
 成果向上余地 中
 成果向上余地 小・なし

理由・
 根拠は？

日曜・祝祭日に働く保護者が対象なので利用範囲が限定されるが、保護者がいつでも安心して利用できるため、今後の利用者の増加が見込まれる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
 ない

理由・
 根拠は？

休日保育を実施するうえで必要な人件費等の補助であるため、コストの削減は難しい。